

## 3月の植物

### ヤマアイ (トウダイグサ科)

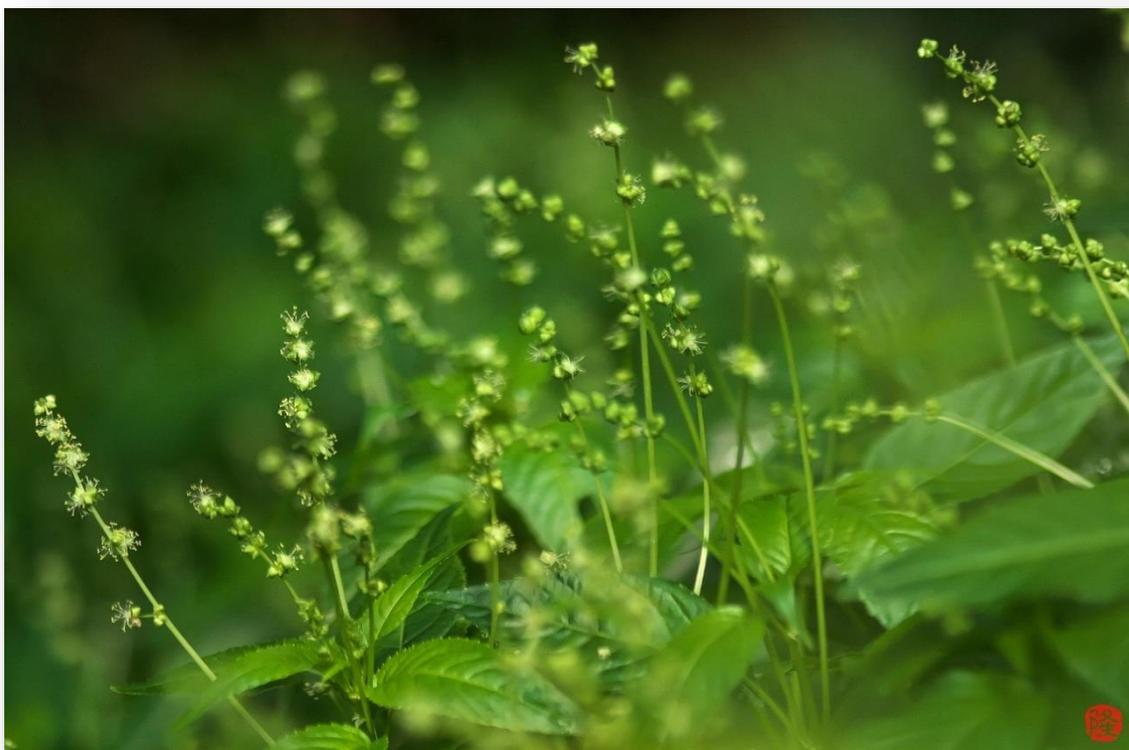
学名 : *Mercurialis leiocarpa*

林内のやや日陰を好んで群生する。葉の全体に光沢があり、日陰で瑞々しく輝きを放つため、葉身を見るとすぐにそれと分かる。葉は長楕円状披針形で対生し、細かい鋸歯がある。

雌雄異株と思われていたが、ひとつの株から雄花と雌花の茎が別々に出るのが実際に雌雄同株との報告がある。花期は3~4月。枝先の葉腋から花柄をだし、小型の花を長い穂状につける。雄花では球状の萼は3裂し、雄しべは多数で束生する。【写真】は雄花である。雌花では2個の棒状体と1個の雌しべがある。

ヤマアイは古くから藍染に使われる植物として知られていたが、その染色方法は長く忘れられていたようだ。研究家の辻村嘉一が染色方法を再発見。ヤマアイの色素を抽出した染液に布を浸すだけでは色素は定着せずすぐに脱色してしまうが、染液に浸した布を、硫酸銅の媒染液で洗うと藍色の色素が繊維に定着して染色が完成することを再発見した。

(文 : 寺村朋輝)



撮影 : 有吉隆幸氏、2024年2月25日、唐津市高島にて